

2021 年度大学院博士前期課程冬季入学試験問題「物理学 II」

[1] 質量 m の一次元系の自由粒子を考える。粒子の位置座標を x とし、その波動関数を $\psi(x)$ と表す。

$L > 0$ として、 $-\frac{L}{2} \leq x \leq \frac{L}{2}$ の領域を考えて、周期境界条件: $\psi\left(-\frac{L}{2}\right) = \psi\left(\frac{L}{2}\right)$, $\left.\frac{d\psi(x)}{dx}\right|_{x=-\frac{L}{2}} = \left.\frac{d\psi(x)}{dx}\right|_{x=\frac{L}{2}}$

を課すものとする。プランク定数を h , $\hbar = \frac{h}{2\pi}$ として、以下の問いに答えよ。

問 1 波動関数 $\phi(x)$ がエネルギー固有状態であり、そのエネルギー固有値が ϵ であるとき、波動関数 $\phi(-x)$ はエネルギー固有状態となる。その理由を数式を用いて説明し、波動関数 $\phi(-x)$ の固有エネルギーを答えよ。

問 2 エネルギー固有状態の波動関数は、 k, A_k, B_k を実数の定数として、

$$\psi(x) = A_k \cos(kx) + B_k \sin(kx)$$

の形でかける。境界条件を満たす k の値を求め、エネルギー固有値を全て求めよ。

問 3 エネルギー固有値 ϵ が $\epsilon \leq \frac{1}{m} \left(\frac{2\pi\hbar}{L}\right)^2$ を満たす互いに直交するエネルギー固有状態の波動関数を、対応する ϵ とともに全て求めよ。ただし、波動関数は $-\frac{L}{2} \leq x \leq \frac{L}{2}$ の領域で規格化すること。

問 4 波動関数が $\psi(x) = \sqrt{\frac{8}{3L}} \cos^2\left(\frac{\pi x}{L}\right)$ のとき、 $\psi(x)$ に含まれる基底状態成分の振幅の二乗の大きさを求めよ。

2021 年度大学院博士前期課程冬季入学試験問題「物理学 II」

[2] 2つのエネルギー準位 $E, E + \varepsilon$ ($E > 0, \varepsilon > 0$) をもつ原子 N 個からなる系が温度 T の平衡状態にある。互いの原子の間に相互作用はないものとする。以下の問いに答えよ。結果だけでなく、求め方や計算の過程も示すこと。ただし、 k をボルツマン定数とする。

問 1 系の分配関数を求めよ。

問 2 系のヘルムホルツの自由エネルギーを求めよ。

問 3 系の内部エネルギーを求めよ。

問 4 系の熱容量を求めよ。

問 5 低温極限 ($kT \ll \varepsilon$)、および高温極限 ($kT \gg \varepsilon$) における熱容量を求めよ。